

調査の概要

1 目的

県内小・中学校、義務教育学校及び高等学校の児童生徒を対象に、新体力テスト及び身体計測を実施し、児童生徒の発育及び体力・運動能力の現状を明らかにするとともに、行政上の基礎資料を得る。

2 調査の実施時期

令和7(2025)年4月～7月

3 主催

栃木県教育委員会

4 調査の対象

県内の公立小・中学校、義務教育学校及び県立学校の全学年全児童生徒

※以降、公立小学校・義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部は「小学校」、公立中学校・義務教育学校後期課程及び特別支援学校中学部は「中学校」、県立学校は「高等学校」と表記。

【実施人数】

	小学校	中学校	高等学校		計
			全日制	定時制	
児童生徒数	86,177人	44,490人	30,867人	935人	162,469人

5 調査の内容

○実技テスト調査（スポーツ庁「新体力テスト実施要項」に基づき実施）

テスト項目								
小学校	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン ^{※1}	50m 走	立ち幅 とび	ソフトボール 投げ
中学校 高等学校					20m シャトルランか 持久走 ^{※2} の選択 ^{※3}			ハンドボール 投げ

※1 往復持久走（一定の間隔で鳴る電子音に従って20mを走り、折り返し回数を測定）

※2 男子は1500m、女子は1000m

※3 中学・高等学校で選択種目となる20mシャトルランと持久走は、前者のみを対象

評価基準

(1) 8種目を、それぞれ性別・年齢で定められた基準により10点満点で評価した得点の合計を「体力合計点」(80点満点)とする。

(2) 算出された体力合計点を男女共通で年齢別に定められた基準により、A～Eの総合評価を判定する。

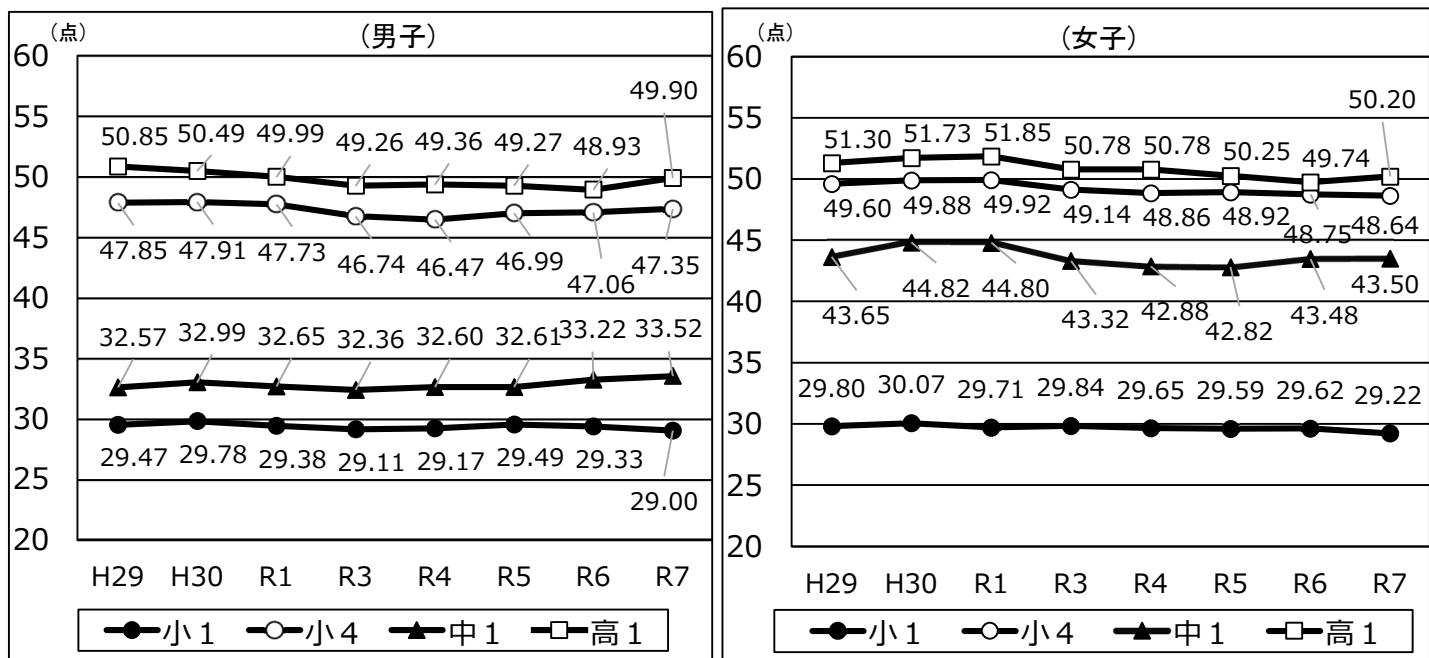
○質問紙調査

児童生徒の運動や生活に関するもの

調査結果の概要

1 体力合計点の状況

男女とも、令和6(2024)年度と比較するとわずかな増減は見られるものの、近年は、ほぼ横ばいである。



※H29より県内の公立小・中学校、義務教育学校及び県立学校の全学年全児童生徒対象の調査実施、令和2年度は未実施

2 実技テスト種目別の状況

※調査実施10年間(平成26(2014)年～令和6(2024)年度)の平均値と令和7(2025)年度の比較

- ・今年度は、延べ74種目で過去10年間の平均を上回った。(昨年度:73種目)
- ・男子は、長座体前屈、立ち幅とびにおいて、過去の平均値を上回る学年が多かった。年代別では、中学生が多くの種目で上回った。
- ・女子は、長座体前屈において、過去の平均値を上回る学年が多かった。

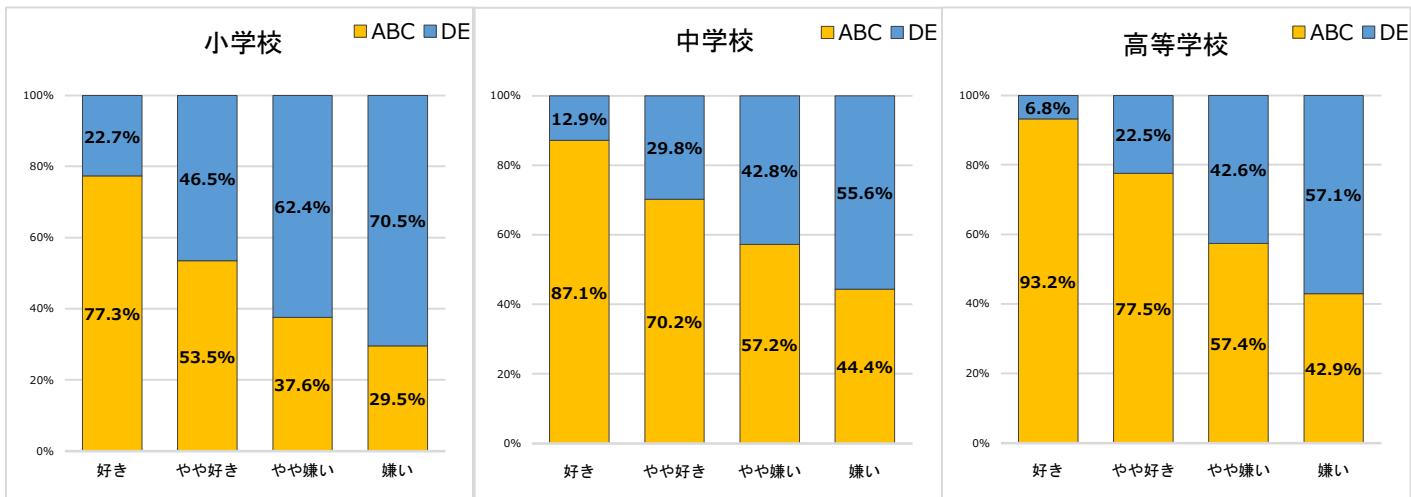
性別	種目	小学校						中学校			高等学校(全日制)			高等学校(定時制)		
		小1 6歳	小2 7歳	小3 8歳	小4 9歳	小5 10歳	小6 11歳	中1 12歳	中2 13歳	中3 14歳	高1 15歳	高2 16歳	高3 17歳	高1 15歳	高2 16歳	高3 17歳
男 子	握力								○					○	○	
	上体起こし		○	○	○											
	長座体前屈	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	反復横とび							○	○	○	○			○		○
	20mシャトルラン	○														
	50m走								○	○			○		○	
	立ち幅とび	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	
	ボール投げ		○	○				○	○	○						
女 子	体力合計点							○	○	○						
	握力													○	○	
	上体起こし				○											
	長座体前屈	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	反復横とび									○			○	○	○	○
	20mシャトルラン															
	50m走															○
	立ち幅とび							○		○			○			
	ボール投げ															
	体力合計点														○	

○…過去10年間の平均値を今年度の平均値が上回った種目

3 質問項目と総合評価の関連

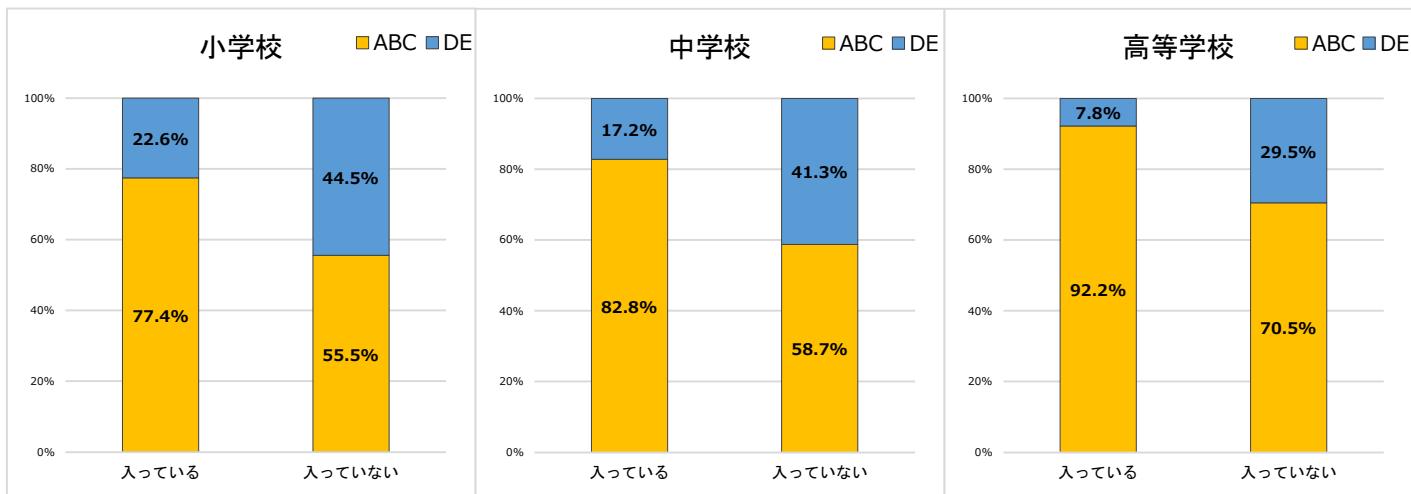
(1) 運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツに対する意識

運動やスポーツに好意的な意識をもつ児童生徒ほど、ABC評価の割合が高い。



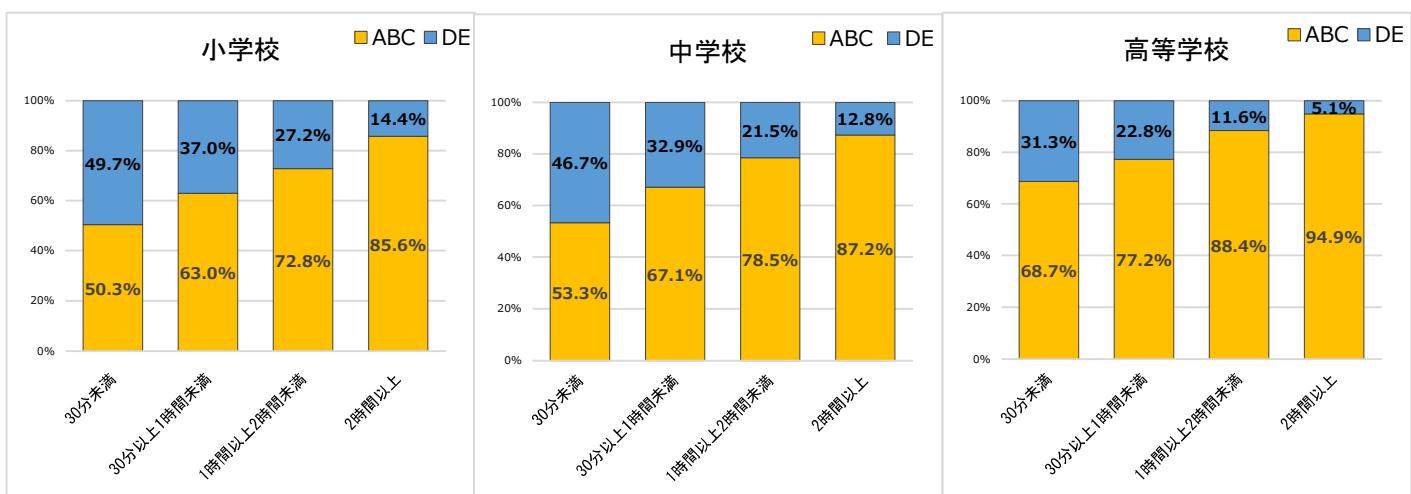
(2) 運動部・地域スポーツクラブ所属状況

運動部や地域のスポーツクラブに所属している児童生徒ほど、ABC評価の割合が高い。



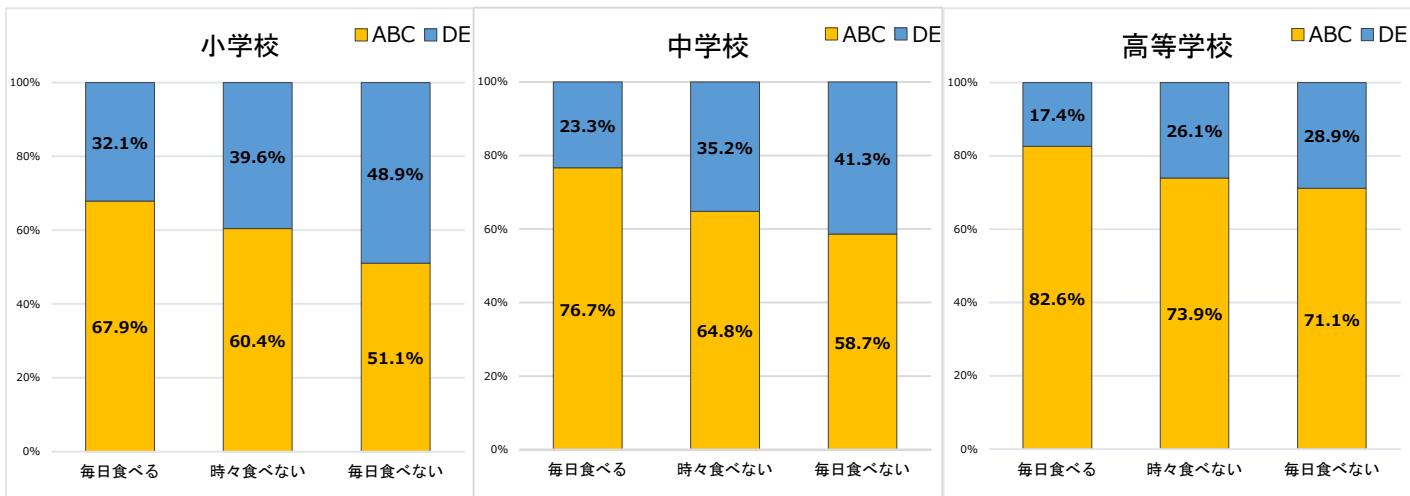
(3) 1日の運動時間（体育・保健体育の授業は除く）

1日の運動時間が長い児童生徒ほど、ABC評価の割合が高い。



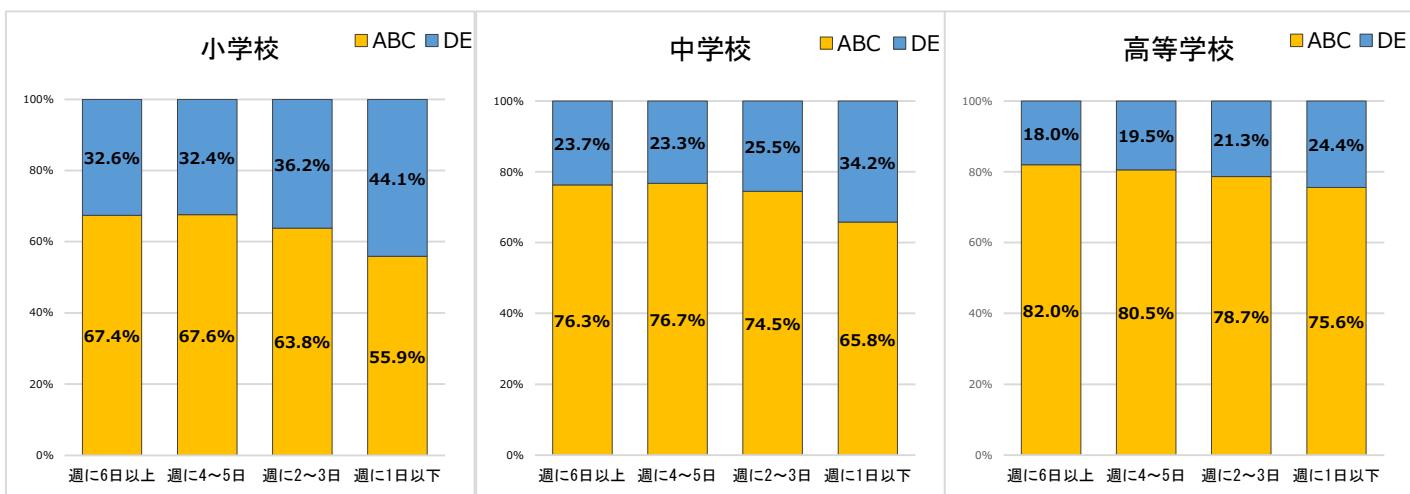
(4) 朝食の摂取状況

朝食を摂取する頻度が高い児童生徒ほど、ABC評価の割合が高い。



(5) 睡眠の状況

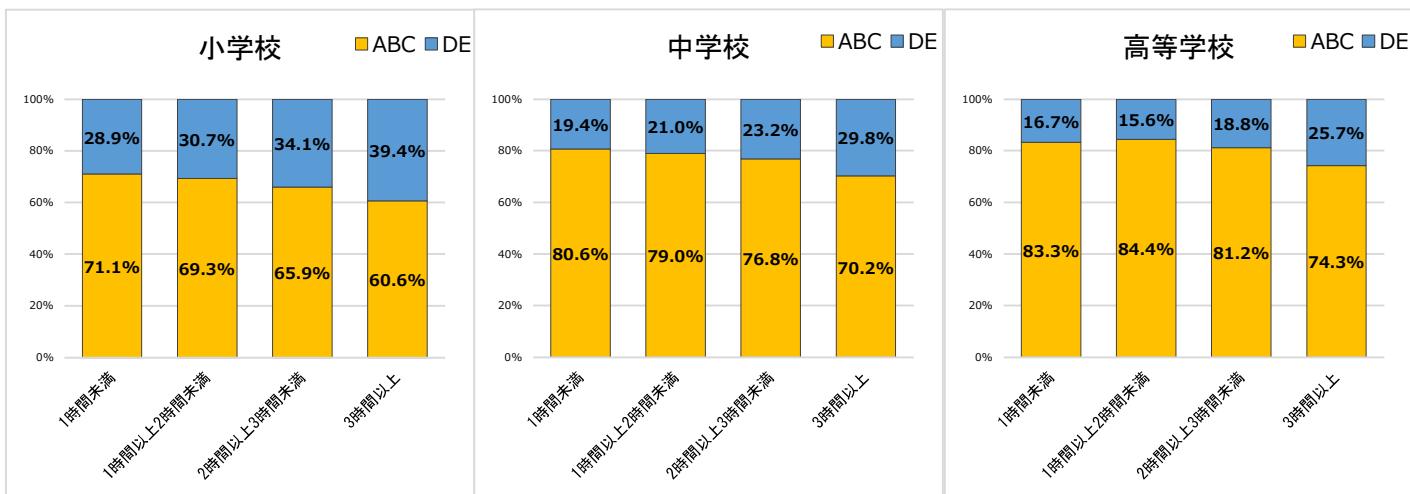
ぐっすり眠ることができる頻度が高い児童生徒ほど、ABC評価の割合が高い。



(6) スクリーンタイム※の状況

※学習以外で、1日あたりのテレビやゲーム機、スマートフォン、パソコン等の画面の視聴時間

学習以外のスクリーンタイムが短い児童生徒ほど、ABC評価の割合が高い。



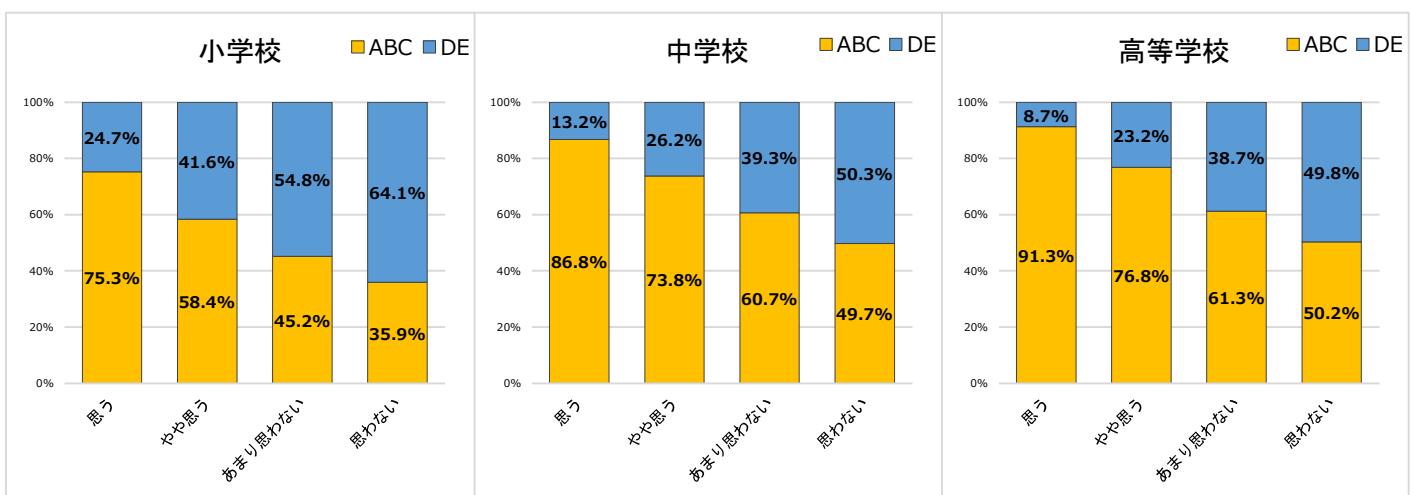
(7) 体育・保健体育の授業に対する意識

体育・保健体育の授業を「楽しい」と感じている児童生徒ほど、ABC評価の割合が高い。



(8) 授業以外での運動への意欲

授業以外でも自主的に運動する時間を持ちたいと思う児童生徒ほど、ABC評価の割合が高い。



(9) 就学前の外遊びの実施状況 ※小学生のみの質問

就学前に「外で体を動かす遊び」をしている頻度が高い児童ほど、ABC評価の割合が高い。

